

おすすめ 資材

焼津営農経済センターが
おすすめします!



形質最高! どこでも作れる
春・夏作兼用の五寸ニンジン!
「向陽二号(タキイ種苗)」

◎価格

700粒 **626円(税込)**

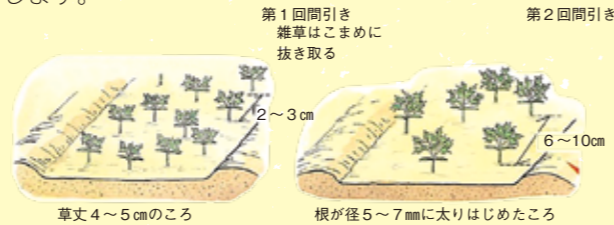
◎特徴

草勢が強く、晩抽・早太りで、良質・多収性に富んだ五寸ニンジンです。根形は、やや肩張りで尻部までよく太り、根色は美しい鮮紅色で、肌は滑らかでツヤがあります。土質を選ばず幅広い作型に適しているため、初心者でも作りやすい品種です。

詳しい使い方や使用量は、
最寄りの営農経済センターへ

③ 間引き

間引きを適確に行うことで、作物の生育がスムーズになります。1回目の間引きは、本葉2~3枚のころ、株間2~3cm程度にしましょう。本葉5~6枚までに、株間6~10cm程度に2回目の間引きを行い、1本立ちにします。



Point!

葉が小さく、初期成育は遅いので雑草にやられやすいです。小さいうちから入念に除草し、追肥をきらさないように管理しましょう。

④ 追肥と土寄せ

2回目の間引き後、速効性肥料を1㎡当たりちっ素成分で3~4g施用します。雑草防除や土壌の通気性、透水性向上のため、本葉5~6枚目までに中耕しましょう。また、根の主部の緑変青首を防ぐため土寄せしてください。



⑤ 栽培のポイント

間引き後は、特に難しい栽培管理はありません。ニンジンには、収穫までの生育後半にあまり水分や肥料を必要としないので、ニンジンが十分に太ってからの追肥は厳禁です。また、雨の多い年には過湿になりすぎて根割れするので、畑の排水には十分注意し、適湿を保つように心がけましょう。

① 畑の準備

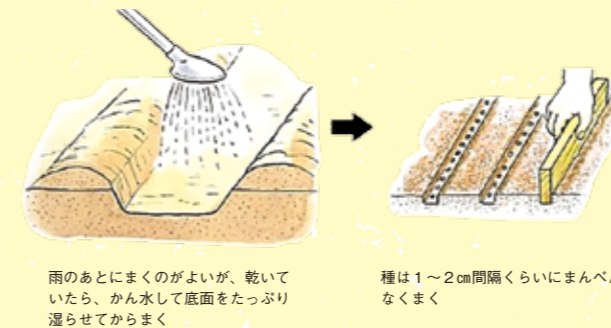
できるだけ早く前作を片付け、完熟堆肥と苦土石灰を全面にまき、15~20cmの深さに耕しておきます。畝幅70~90cmの畝をたてて板などで表面を平らにします。



② 種まき

【条まきの場合】

5~10mmの一定の深さのまき溝を切って、種を1~2cm間隔にまきます。軽い土では、覆土1cm程度で鎮圧し、重い土では、種子が隠れる程度に覆土します。



Point!

降雨による種子の露出、高温・乾燥防止のために、覆土した上にもみ殻や被覆資材などをかけておきましょう。また、毛つきの種は、まく前に手でよくもんで毛を落してまくと良いです。



はたけ日和

おいがわ 今月の作物



ニンジン

・植物分類 セリ科 ・原産国 アフガニスタン

日本へは中国から17世紀頃に渡来しました。その子孫である東洋種の金時ニンジン、赤い色が強く、加熱すると深紅に近くなり、京料理を彩る高級野菜のひとつです。現在は、ずんぐりして短い、オレンジ色の西洋種の栽培が一般的です。

ニンジンの栽培で失敗しやすい1番の原因が発芽不良です。発芽するまでに土壌が乾燥すると、極端に発芽率が低下します。ニンジンが発芽する際に必要な水分を吸収する力が弱いので、晴天が続く土壌水分が少ない時は、しっかりかん水しましょう。



焼津営農経済センター 橋本 良文

